

山口県人権推進指針

～県民一人ひとりの人権が尊重された
心豊かな地域社会を目指して～

指針の基本理念・キーワード

基本理念

この指針においては、山口県民すべてが一生涯の間、家庭、地域、職場、学校、施設、その他あらゆる場において、自分の人格が尊重され、他人の人格を尊重して自由で平等な生活を共に営むことができるよう、一人ひとりがかけがえのない尊いいのち（生命）の主体者であるという、人間尊重を基本的な考え方として、「県民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会」の実現に向け、総合的に人権に関する取組を推進することを基本理念とします。

キーワード

基本理念に基づいたさまざまな取組を進めるため、「いのち（生命）」、「じゆう（自由）」、「びょうどう（平等）」、「きょうせい（共生）」をキーワードとして諸施策を推進します。

いのち（生命）

だれもが、かけがえのない「いのち」を大切に作る地域社会の創造をめざします。

じゆう（自由）

だれもが、他人を害することなく、自由に自立した生活の出来る地域社会の創造をめざします。

びょうどう（平等）

だれもが、社会の一員として等しく参加・参画できる地域社会の創造をめざします。

きょうせい（共生）

だれもが、多様な文化や価値観、個性を尊重し、共に暮らせる地域社会の創造をめざします。

同和問題啓発推進強調旬間に係る 生徒作品より（平成14年度）

深川中学校 1年
安藤美幸さんの作品



俵山中学校 1年
保科みどりさんの作品



人権教育啓発推進センター発行「人権ってなんだろう」より一部抜粋

💡 考えてみよう！

「障害は、不便だけど不幸ではない」という言葉があります。その言葉について考えてみましょう。

障害があっても、その子どもの個性や誇りが傷つけられてはなりません。また、障害者の視点にたつて社会を見ることも必要です。そして、バリアフリー化されている街でも、住民の意識が低ければ、せっかくのバリアフリーが活かされないこともあります。

このマンガに登場する子どもたちも、何か特別なことをしてあげるのではなく、学校やまちを観察し、障害を持つコウジくんの側に立って物ごとを見ることで、コウジくんの「存在」を尊重しようという努力をしています。

障害のある人も「共に生きていく」ことが大事なのです。自分たちの都合だけでなく、常に障害のある人のことを忘れない。これだけで障害のある人はずいぶん助かります。そして、それは障害のない人にも暮らしやすい社会へとつながります。